



小笠原 良子 (日本共産党)

小中学校の給食を 無償化する考えは 財政的に難しい

議員 憲法第26条に「義務教育は、これを無償とする」とあるが、現実には学校給食費等、保護者の経済的負担が大きい。給食を無償化する考えは。

教育長 市は学校給食経費の一部として広域事務組合に約2・3億円を支出しています。無償化にはさらに保護者負担分の約2・3億円が必要となり、財政的に厳しいため実施する考えはありません。

議員 学校給食で安心・安全な食材が提供されるよう努力していると思うが、給食での地場産品の使用割合は、**市長** 平成29年度は重量比で7・2%でした。地元食材の活用を推進し、10%以上となるよう努めます。

議員 生活が困窮している家庭等を対象とした就学援助制度のうち、新入学児童生徒学用品費等の支給額は、**教育部長** ランドセルや制服代等の費用の一部として、小学1年生に1万9千円、中学1年生に2万2千円支給しています。

議員 市職員の学芸員の資格を持った人は何人おり、どう配置されているか。

議員 市職員に学芸員の資格を持った人は何人おり、どう配置されているか。
総務部長 考古学専攻で資格を有することを条件に採用した職員2



郷土館～郷土史研究の殿堂～

議員 市の歴史を子供たちに伝えていくため、歴史研究に興味・関心を持つ若い方をどう養成していくか。
教育部長 各種講座や企画展の開催等により気運の醸成を図ります。

選挙の立候補者に 選挙運動の義務化を 法律の定めがないため できない



中 嶋 秀 一 (自民公明クラブ)

きません。

議員 既存の十和田八幡平国立公園の看板が目立たないので、焼山地区の十和田橋周辺に国立公園の入り口とわかる標示物を設置する考えは。
観光商工部長 国立公園満喫プロジェクトの十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020の取り組み方針の中で、案内誘導の強化等が挙げられています。特に国立公園入口付近に、結界感の創出を補足する標識類やモニメントの設置を検討することが新たにプログラムに盛り込まれたところですので、観光客にわかりやすい標示物の整備を、既存の看板を所管する環境省に働きかけていきます。

議員 選挙へ立候補する者に、ポスターの掲示、選挙公報への政策提示、選挙カーの使用を義務化する考えは。
選挙管理委員会委員長 公職選挙法上、これらを義務とする定めはありませんので、市独自で法律の規定内容を上回るような義務化はできません。

議員 観光振興のため

め、十和田湖・奥入瀬渓流の世界自然遺産への登録を目指す考えは。
観光商工部長 世界自然遺産の趣旨は、自然環境の保全であり、知名度向上による観光振興は二次的効果と認識しています。十和田八幡平国立公園は、国立公園満喫プロジェクトのモデル地区に選ばれ、現在、訪日外国人を引きつける取り組みを集中的に実施していることから、観光振興を目的に世界自然遺産への登録を目指す考えはありません。



恵まれた自然環境を保全しつつ魅力発信を

第1回定例会は、13人の議員から一般質問がありました。紙面の都合上、各議員が指定した質問事項とその答弁を要約して掲載しています。詳細については、十和田市ホームページ内、会議録検索システム（6月掲載予定）をご覧ください。